作品創りを学ぶ

漢字かな交じり文を書く（24）

締切り　十二月二十日（必着）

奥村憲照先生書　　ラウンドペン使用

◎書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり文」の三つがあります。

◎「漢字かな交じり文」は、実用書としてはあたり前のことですが、芸術書としては比較的新しい分野で、近代詩文書とか調和体と呼ばれています。団体によっては、新和様とか新書芸、日本詩文書という呼称もあります。

◎今月の作品は、本会創立三十周年を迎えた折（昭和六十年）に書かれたものです。様々な苦難を乗り越えながら歩んで来た三十年を、しみじみと振り返る心情が伝わってくるようです。皆さんもそれぞれの人生に重ね合わせて表現してみてはいかがでしょう。

◎二十四回にわたって学んできた「漢字かな交じり文を書く」は、今回で終了します。一月号からの新企画もお楽しみに。

※出典　将棋元名人　升田幸三のことば

※落款（氏名）も作品の一部として、作品の最後に書き入れて下さい。（雅印のみも可）

□作品の出し方

▼硬筆部＝B５判（二五七㎜×一八二㎜）以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。（黒色に限る）

▼毛筆部＝半紙に書いて下さい。筆ペンも可です。

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

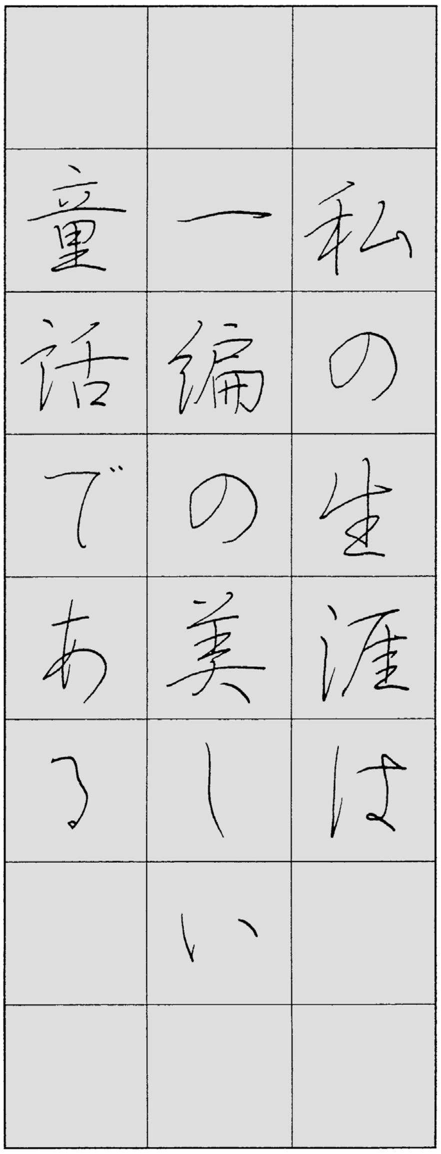
▼**事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績（毛筆の場合は毛筆漢字の成績）**を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

一般部規定課題

締切り　１２月２０日（必着）

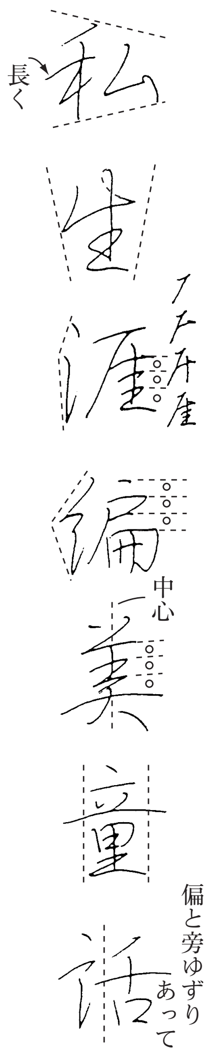
新入から１級まで



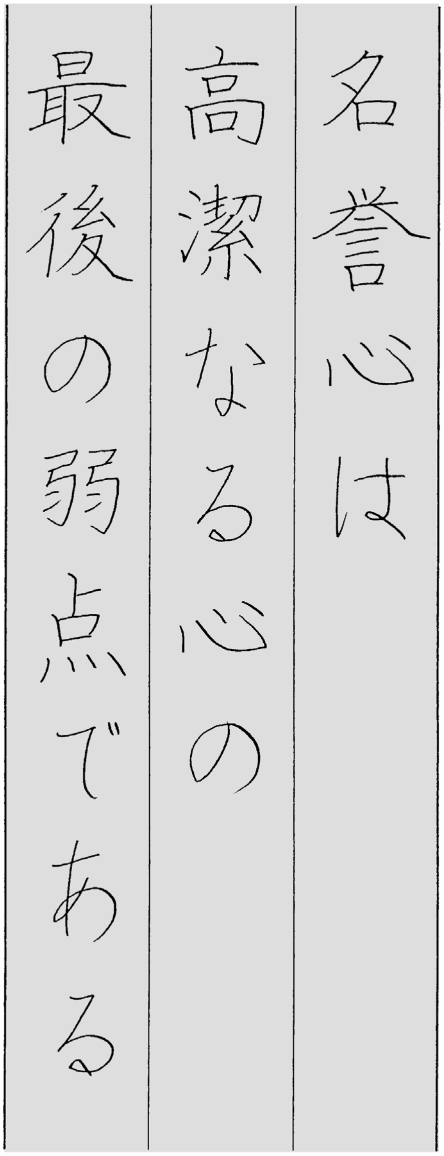
大谷清城　書

▷用具＝自由（黒色に限る）
▷用紙＝本会級位用紙

〔解　説〕



準初段から六段まで



岡田龍芳　書

▷用具＝自由（黒色に限る）
▷用紙＝本会段位用紙

▶**教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。**

今月は楷書で、特にペンのふせ方に注意。平らにふせるのを標準とし、右に傾けると横線や右波法に細太の変化も出来、なめらかで潤いのある美しい変化線が出せます。

〔解　説〕

★私の…（書体＝行書）
アンデルセン（一八〇五〜一八七五）
デンマークの童話作家・詩人

アンデルセンの『自叙伝―わが生涯の童話』の冒頭を飾る言葉です。課題文に続いて「それほど豊かで幸福な人生だった」とあります。しかし自身の生い立ちは決して幸福であったとは言い難いものでした。世界中の人々に愛された童話の中に、心の幸福を築いていったのでしょう。

◆**1月課題予告**（楷書）
疾風に
勁草を知る
後漢書

★名誉心は…（書体＝楷書）
ミルトン（一六〇八〜一六七四）
イギリスの詩人

いくら人格者であって高潔な心をもった人でも、名誉を求める心を捨てるのは難しいと言っています。

他人に知られずに善行を行い続けるという人は滅多にいません。心のどこかに、社会に、人に評価してほしいという名誉欲が顔を出してしまいます。

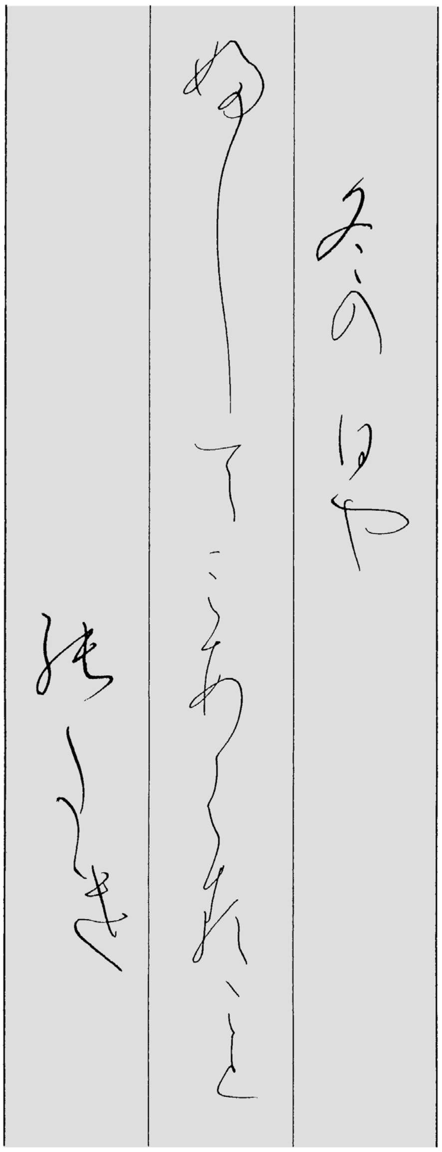
◆**1月課題予告**（行書）
良心なき知識は
人間の魂を滅ぼす
ラブレー

▼教範・書範＝楷書
▼師範＝行草または草書

一般部かな課題

締切り　12月20日（必着）

準初段から六段まで



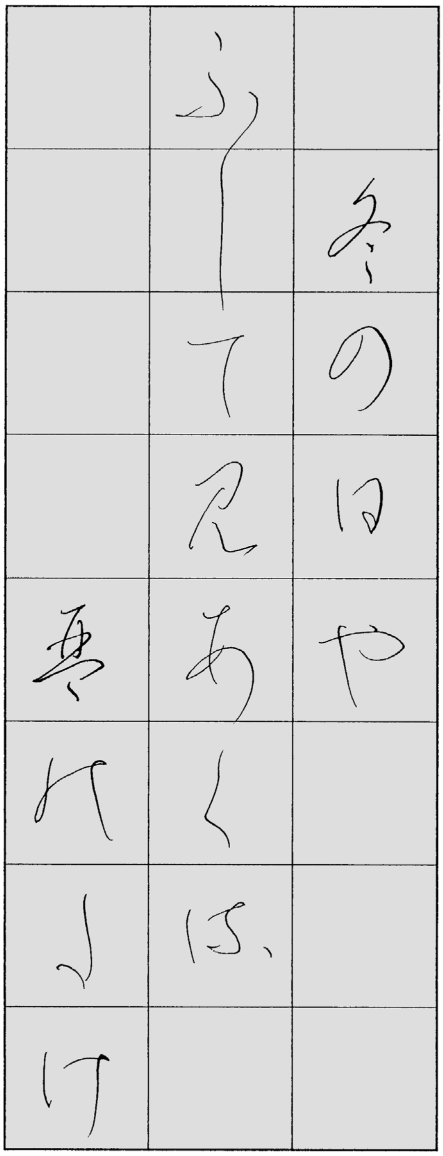
冬の日や臥して見あぐる琴の丈（婦天三類こと能多遺）

大宮春兆書

▷用具＝自由（黒色に限る）
▷用紙＝本会段位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

新入から１級まで



冬の日や臥（ふ）して見あぐる琴の丈（流能多け）

大宮春兆書

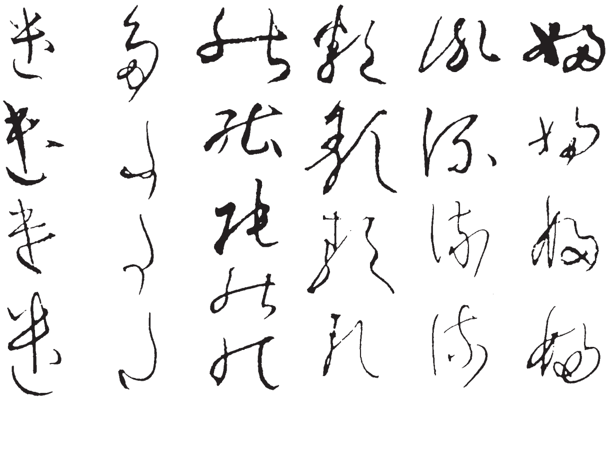
▷用具＝自由（黒色に限る）
▷用紙＝本会級位用紙

冬の日や臥して見あぐる琴の丈
（野沢節子）

〔句意〕弱い冬の陽射しの差し込む部屋の一隅に立てかけてある、丈六尺余りの琴を臥しながら仰ぎ見ることである。琴は黙して語らないが、一生懸命に琴の稽古に励んでいた、幼き日のことが心をよぎることである。

〔古筆参考〕

婦（ふ）　流（る）　類（る）　能（の）　多（た）　遺（け）

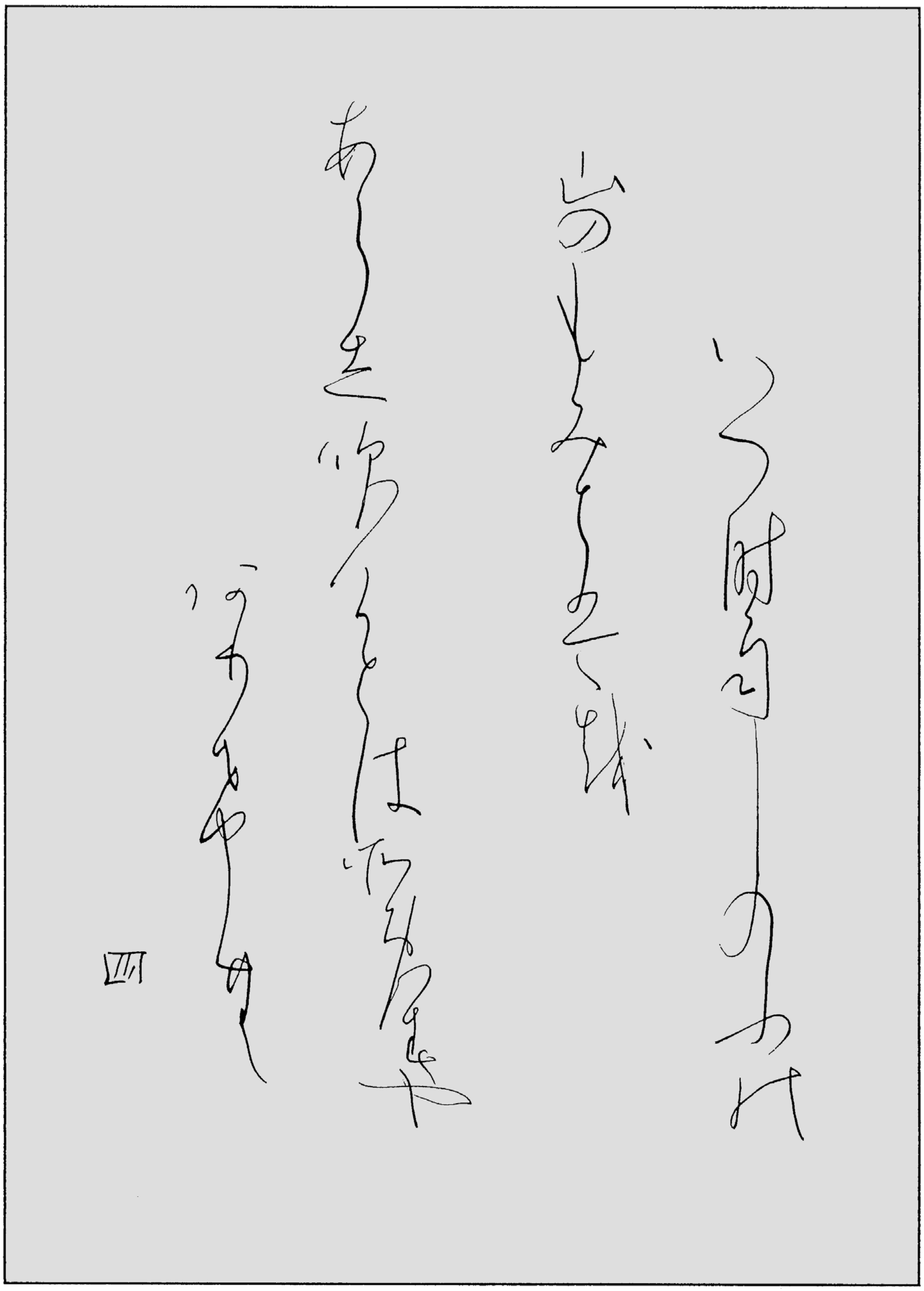


◆１月課題予告

羽子板の重きが嬉し突かで立つ
（長谷川かな女）

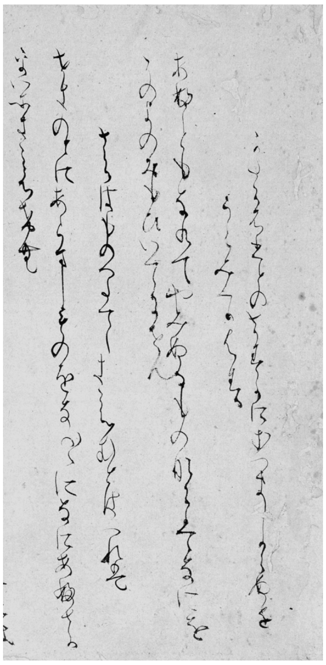
締切り　十二月二十日（必着）

簗瀬舟香書



〔古筆参考〕

針切



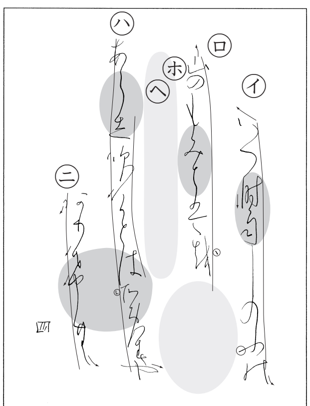
かたらふひとの、さすがにむつまじからぬを、
うらみつかはす
あふこともなくてやみぬるものならばなにを
このよのおもひいでにせん
さらば、ものへだてゝきこえむと、はべれば
せきのとにあらましものをなか〳〵になにあふさ
かをいそぎこえけむ

初しぐれしのぶの山のもみぢ葉を
あらし吹けとは染めずやありけむ
七条院大納言

〔歌意〕初しぐれは、嵐が吹き散らすようにと思って信夫山のもみじ葉を染めたわけではないでしょうに。お願いだからどうか散らさないで。

〔出典〕新古今和歌集
（新潮日本古典集成）

〔解説〕



・㋑と㋥、㋑と㋩、㋑と㋬、㋺と㋬、㋺と㋩、㋺と㋥、それぞれ呼応。
・●墨の動き大切。
・↙の方向に注意。
・◯余白大切。

針切の連綿（最終回）

針切の連綿の種類は先月号で述べましたが③と④について詳しく説明しておきましょう。

③の省略連綿は上の字の終わりの画と次の字の始めの画を直接続けてしまう方法。④の変形連綿は上の字の終画と次の字の一画目を合体させる方法です。（複合体とも云います）一年針切について書きました。ご参考になりましたでしょうか。参考資料　同朋舎出版　針切

◆1月課題予告

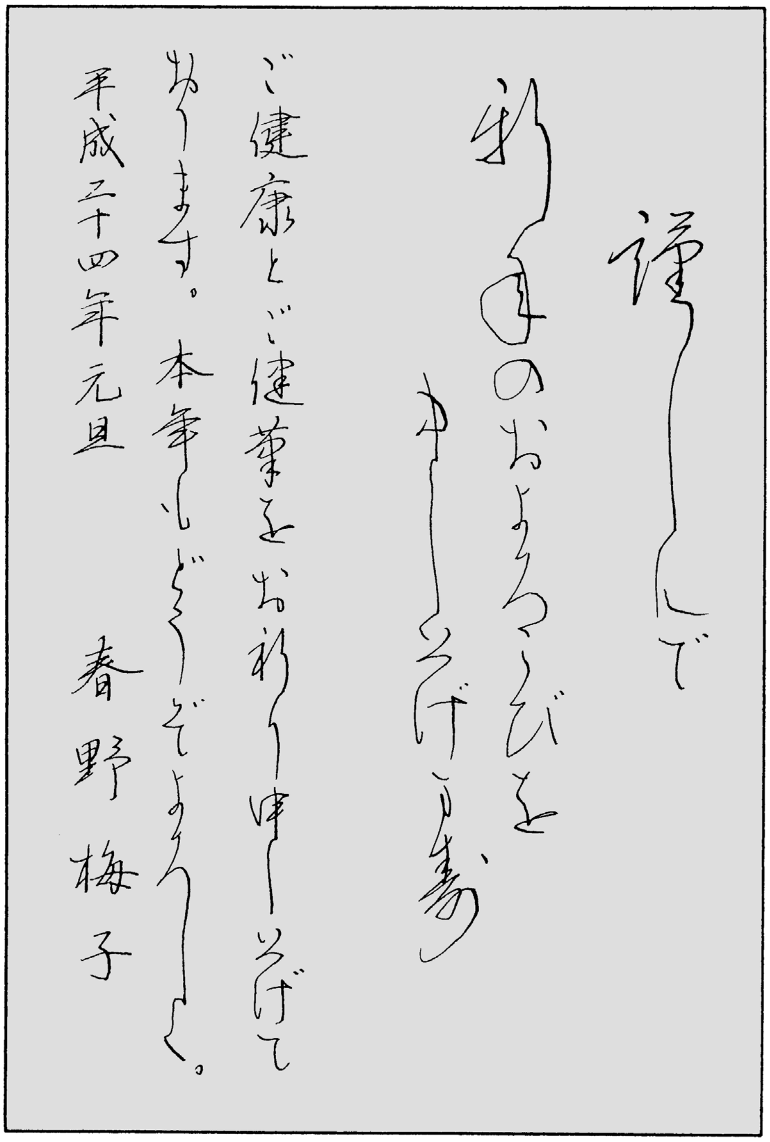
天の原ふりさけ見れば春日なる
三笠の山にいでし月かも

実用文のページ

はがき課題

奥田三雲（おくだ みくも）書

締切り　１２月２０日(必着)



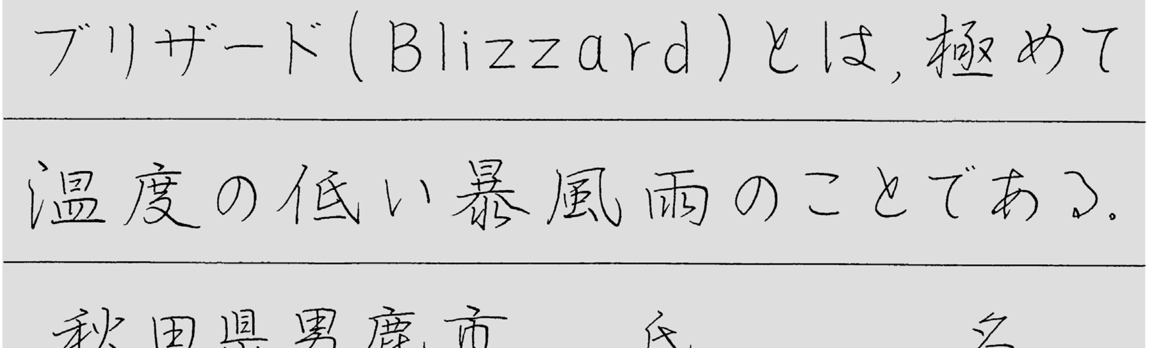
自由課題

◆今月は、文章も自由といたします。
◆皆さんのアイディアを生かして自由に創作して下さい。
◆バラエティに富んだ、個性豊かな年賀状をお待ちしています。

謹しんで
新年のおよろこびを
申し上げます（万寿）
ご健康とご健筆をお祈り申し上げて
おります。本年もどうぞよろしく。
平成二十四年元旦　春野梅子

横書き課題

岡嶋桂川（おかじま けいせん）書



※手本は、つけペン使用。　★三行目は、**指定の地名**と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り　12月20日（必着）

風 味 去 之 （資）滋 永

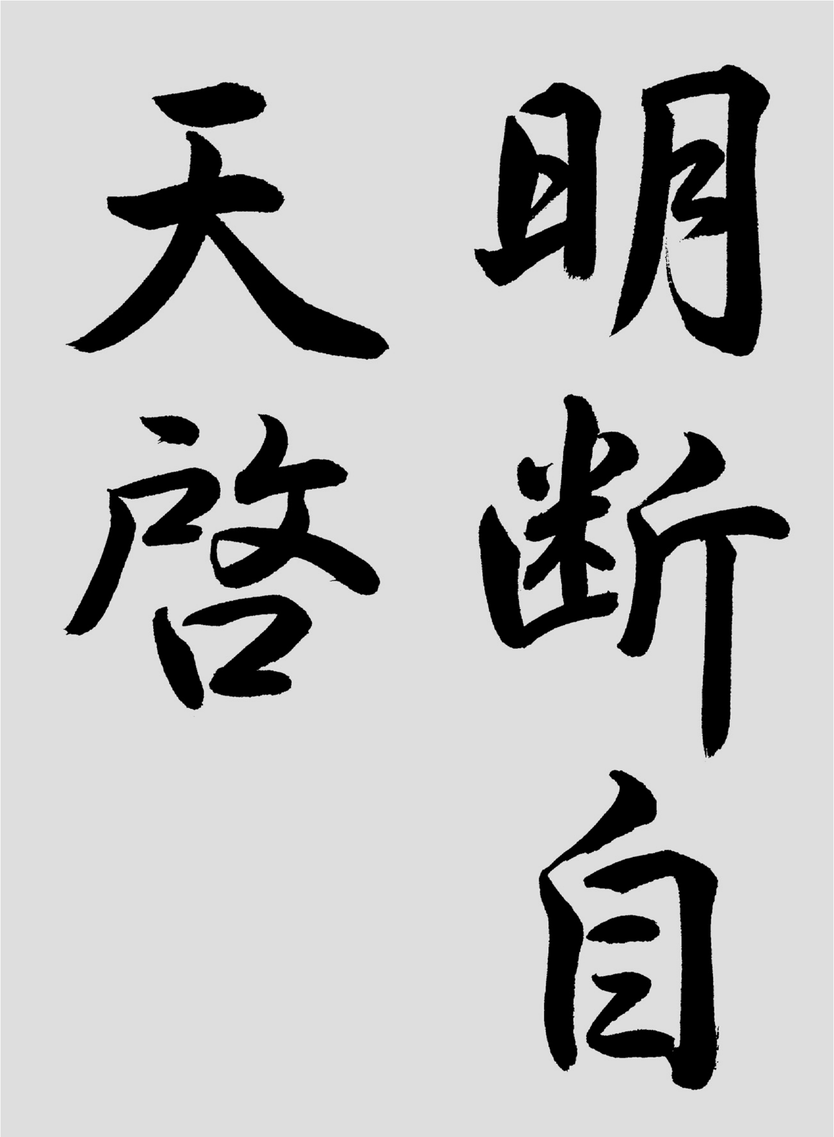
準初段から師範まで

奥村暢之臨（おくむら のぶゆき）

〔出典〕書譜（６８７）〔筆者〕孫過庭（６４８？～７０３？）

〔読み〕風味を（挹（く）む。）之（これ）を去ること滋（ますます）永くして、

※注　原本にて、誤記の「資」が「滋」に改められています。



新入から1級まで（行書）

澤静雨書（さわ せいう）

〔読み〕明断天より啓（ひら）く

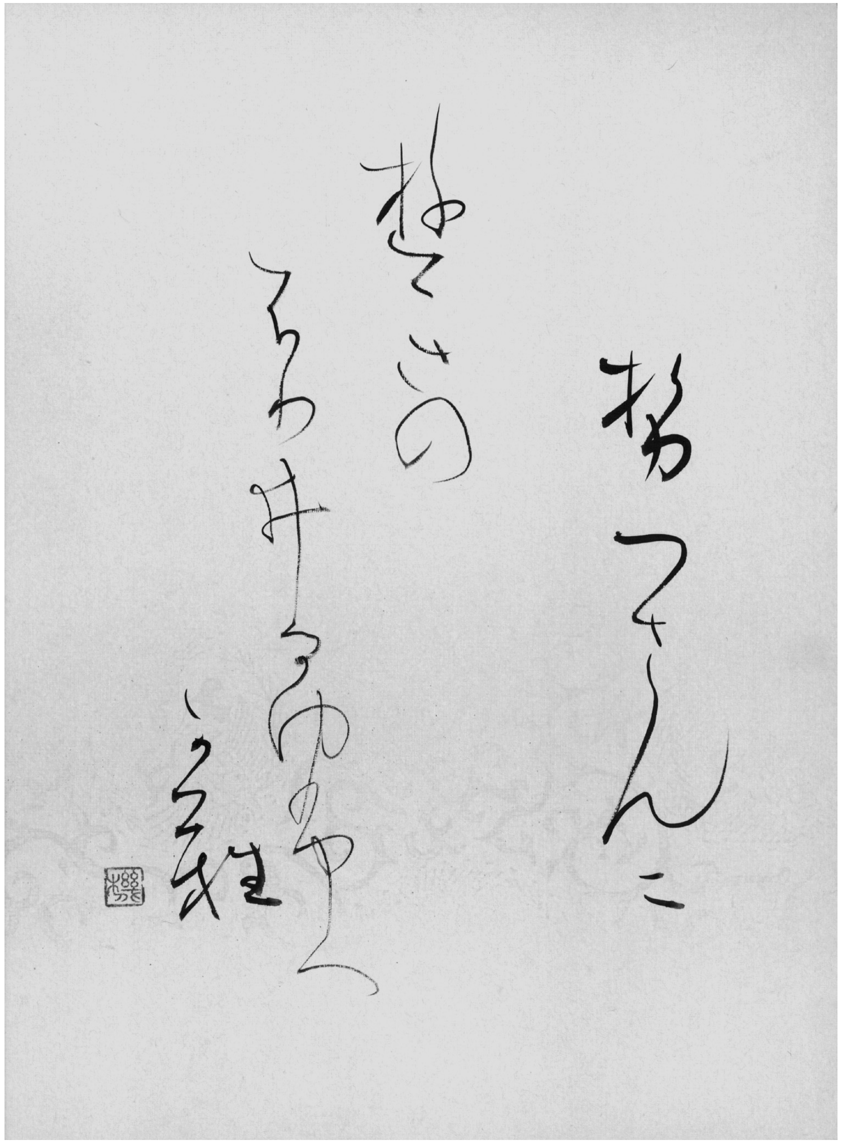
〔大意〕英明な決断の力は、天から啓示されたものである。

一般部毛筆かな課題

締切り　12月20日（必着）

新入から1級まで

浅井機山（あさいきざん）先生書



※検定試験1級コースを兼ねる。

雪山に雪の降り居る夕べかな

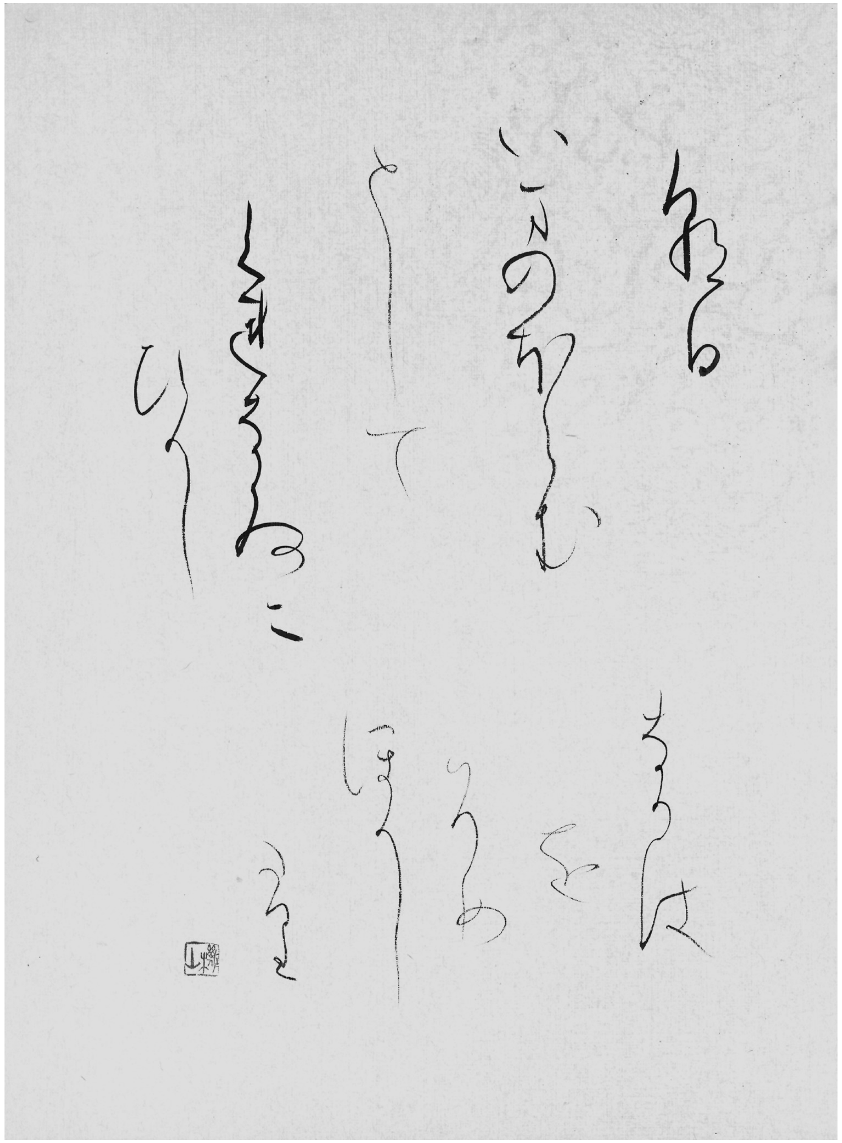
（勢つさん　二　遊き　不利井　ゆ布　可難）

〔出典〕前田普羅（まえだふら）

〔句意〕夕方に炬燵（こたつ）に入りながら、窓から雪山に雪が降っている景を眺めやっている。冬の夕方の寂寥感が表われた句。

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



※検定試験三段～教範コースを兼ねる。

朝日いま上らむとしてくれなゐに
東なかばを染めぼかしたり

（万の本　連奈二　ひ可し奈可　曽可　多里）

〔出典〕清水比庵（しみずひあん）

〔歌意〕朝日がいましも昇ろうとして、くれない色に東方の空の半分を染めぼかしている。

一般部毛筆条幅課題

締切り　十二月二十日（必着）

半　切（一三六㎝×三五㎝）

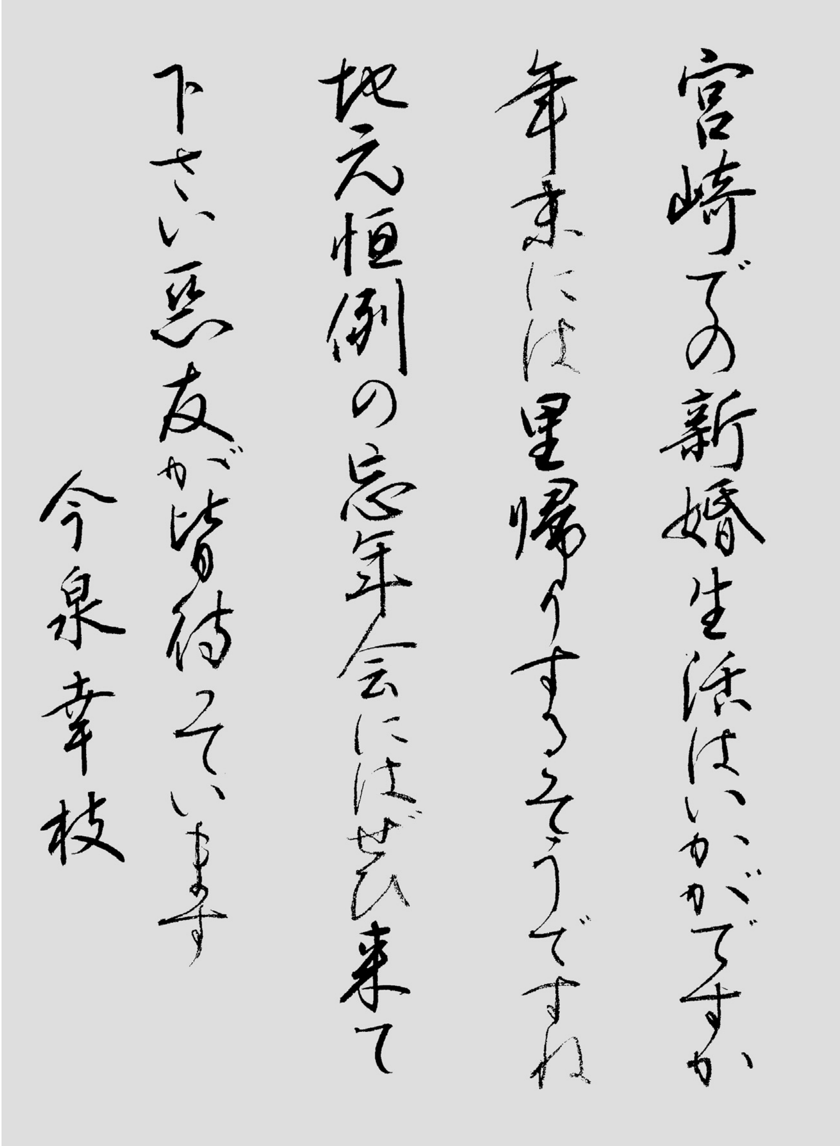
荻（おぎ）田（た）蒼（そう）仙（せん）書

心如止水鑑常明（こころはしすいのごとくかがみはつねにあきらか）
見尽人間萬物情（みつくすにんげんばんぶつのじょう）　**唐　劉禹錫**（りゅううしゃく）

〔大意〕心は静止した水鏡のように常に明らかで、世間のあらゆる物の性情をすっかり見通す。

初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

一般部毛筆細字課題



※検定試験三段コースを兼ねる。

半紙（３３４㎜×２４０㎜）　　樋（とい）田（だ）玲（れい）華（か）書

〔条幅解説〕いろんな書道団体に属している方の作品を見せて頂いていますが、概ね落款が本文より落ちます。落款によってその人の実力がわかると言います。名前だと思わないで下さい。作品なんです。落款になって途端にお習字的実用書になる方がありますが、これも価値を下げます。

宮崎での新婚生活はいかがですか
年末には里帰りするそうですね
地元恒例の忘年会にはぜひ来て
下さい　悪友が皆待っています
（ご自分の氏名）

・印で墨つぎしました。

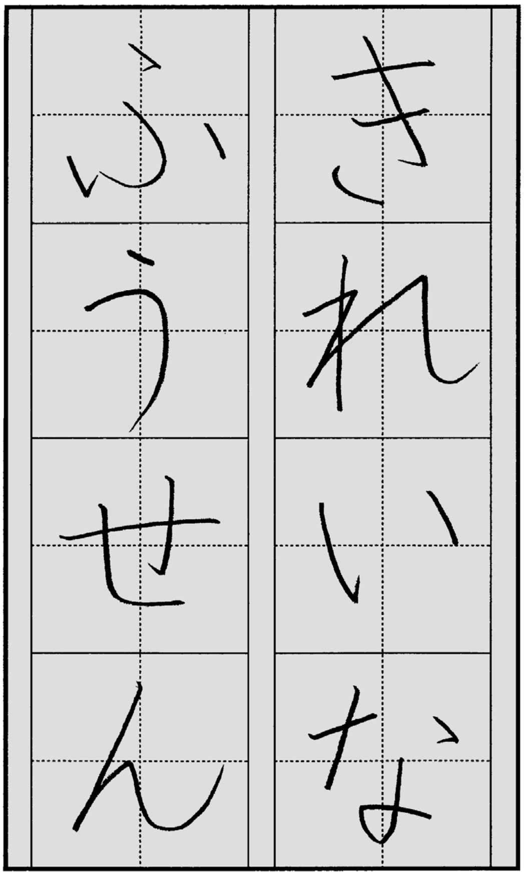
〔条幅・細字作品の出し方〕

■新入から師範まで、どなたでも出書できます。

■成績（天位～5等）は、評価により毎月変わります。

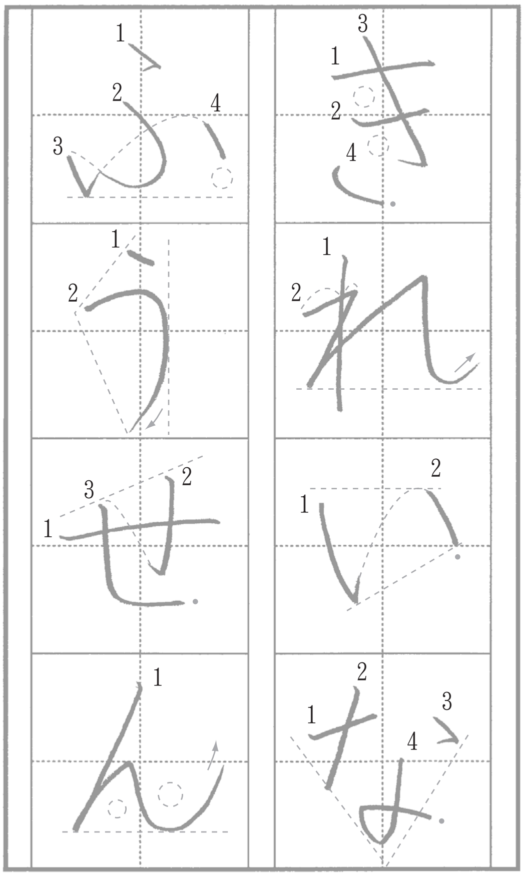
■書体変換、変体仮名の交換は自由です。

よう年



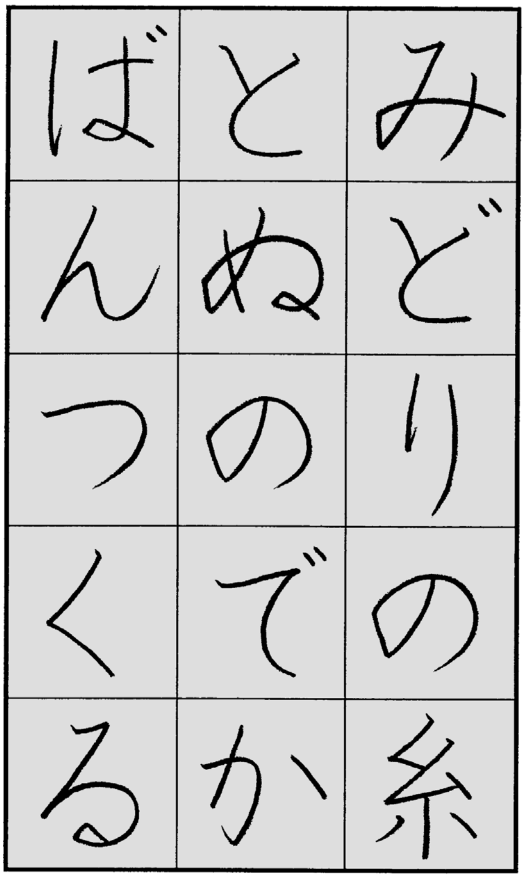
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員８マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング（なぞってかいてみよう）



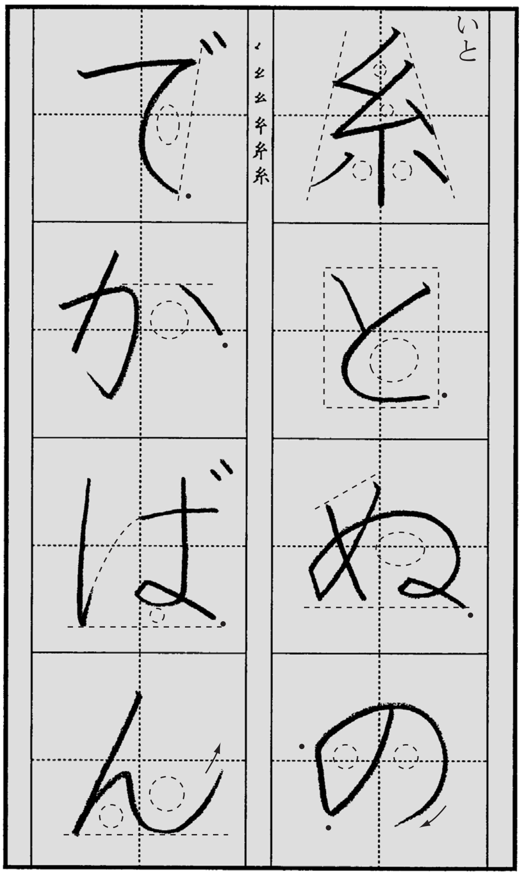
〈ようぐ〉自由（黒色にかぎる）

小一年



（注）えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準初段以上



新入～１級

幼年～小三年　三宅（みやけ）容玉（ようぎょく）書

小二年

準初段以上

千円をひろい交番へとどけに行く

新入～1級

千（セン）円（エン）ひろい交（コウ）番（バン）へ

ながく

一二千　丨冂円円　・亠六交　一〃平来番番

〈ようぐ〉自由（黒色にかぎる）

小三年

準初段以上

家族で冬山の温せん宿へ出かける

（注）えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新入～1級

冬（ふゆ）山（やま）の温（オン）せん宿（やど）へ

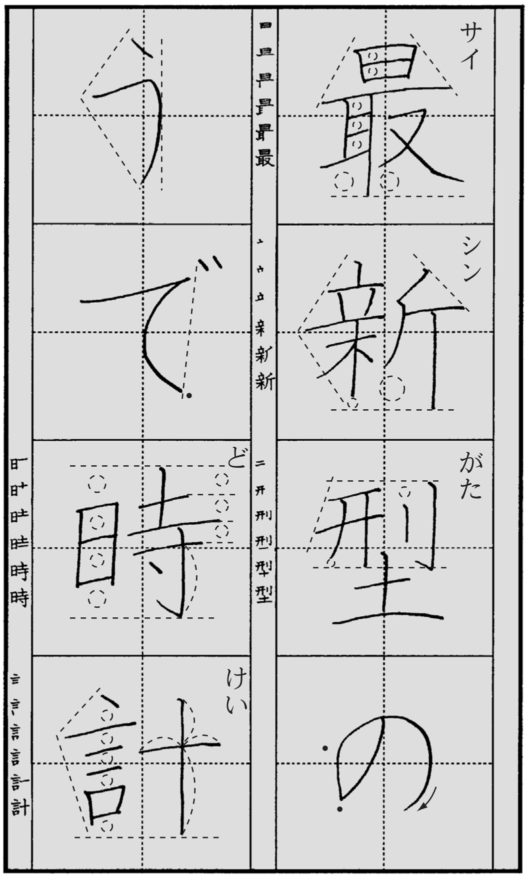
ノク夂冬冬　丨山山　氵沪沪渭温温　宀宀宀宀宿宿

小四年

準初段以上

最新型のうで時計が当たり喜ぶ父

新入～1級



〈用具〉自由（黒色に限る）

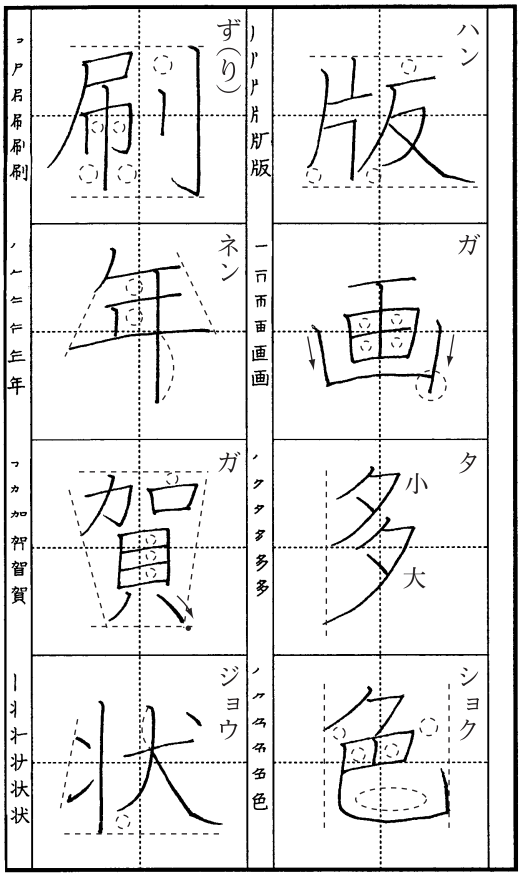
小五年

（全員）

版画で多色刷りの年賀状をつくる

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説（よく見て習いましょう）

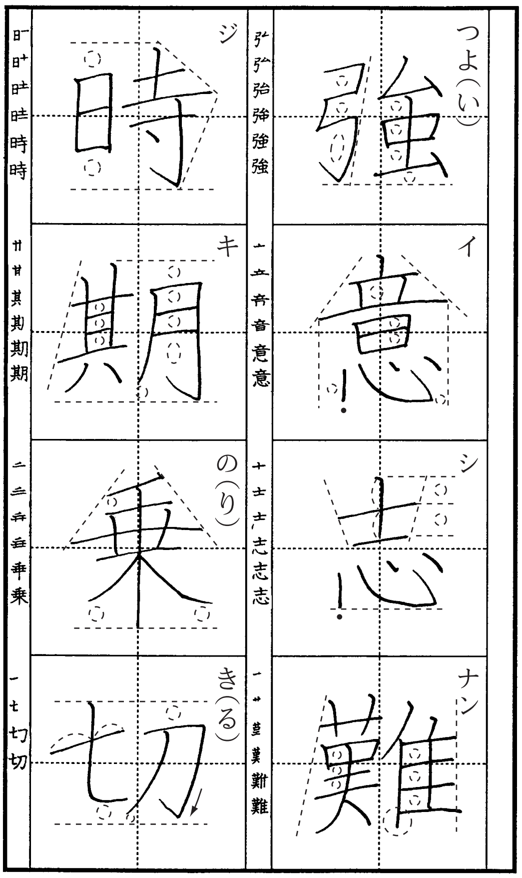


小四以上　須田一葉 書

小六年（全員）

強い意志で困難な時期を乗り切る

解説（よく見て習いましょう）



〈ようぐ〉自由（黒色に限る）

中一年（楷書）

父の古里は珍しい郷土芸能で有名

中二・三年（楷書）

冬至に南瓜を食べ無病息災を祈る

〔読み〕南瓜＝かぼちゃ

こどものひろば

しめきり　１２月２０日（必着）

▼小三年以下の課題　二宮泰光　書

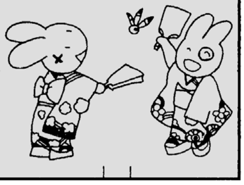
明けまして
おめでとう
今年も楽しく
遊ぼうね
一月一日　名まえ

◎お手本はえんぴつ使用

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題　桑原栄雲　書

賀正
みんな笑顔で
健康な毎日を
過ごしましょう
元旦　氏名



◎お手本はつけペン使用

◇**作品の出し方**

一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
一、成績は評価により毎月変わります。
一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。**貼っていない方は新入とみなします。**

教育部毛筆課題

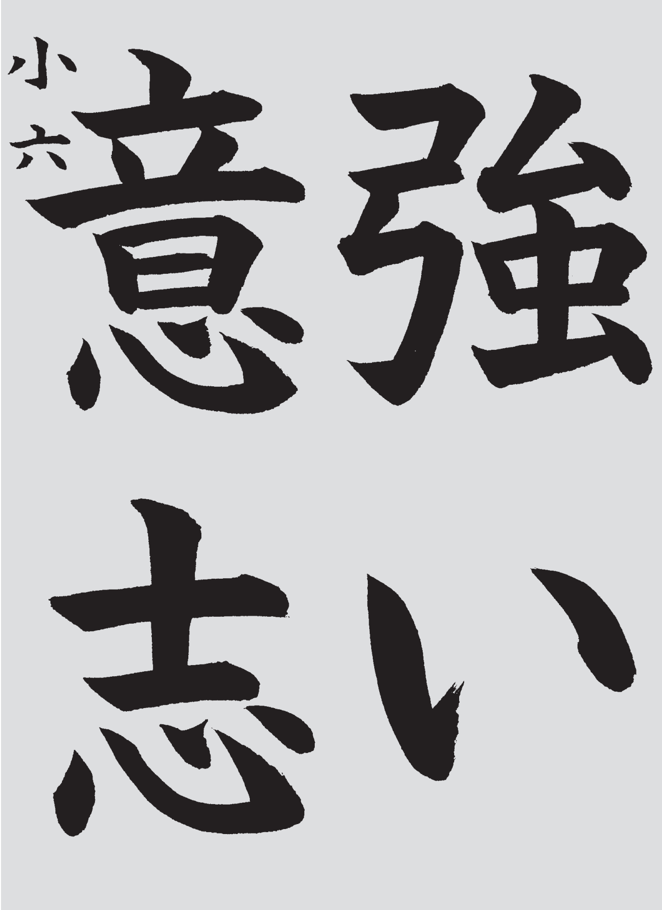
しめきり　12月20日(必着)

幼年～小二年　玉樹小華書

小三～小五年　水野香竹書

教育部毛筆課題

しめきり　１２月２０日(必着)



小六〜中二・三年　奥村暢之書

第61回　毛筆検定試験受験要項

１２月２０日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、**十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）**

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出　品　方　法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、**ゼムクリップでとじて下さい。**

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に入れ、表に**「検定」「月例」**と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同送して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼**受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。**（振替、その他は不可）

●**締　切**　平成二十三年十二月二十日（本部必着）

●**送り先**　大書心会検定試験係

●**発　表**　平成二十四年三月号

▼**肉筆手本希望者は**、毎月裏表紙掲載の毛筆担当の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、**一点についての金額**です。ただし、**コピー手本・添削料は半額**といたします）

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

一般部１級・三段コース
- 漢字半紙……一、〇〇〇円
- 細字・かな……一、五〇〇円

五段コース以上
- 漢字半紙……一、二〇〇円
- 条　幅……三、五〇〇円

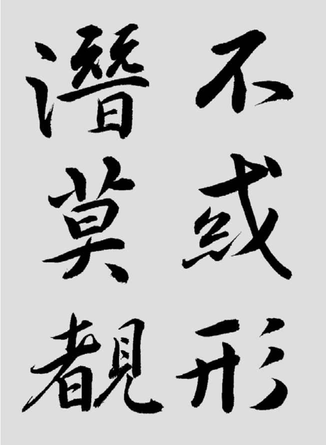
活字課題　会友コース
- 細　字……一、七〇〇円
- 教育部……八〇〇円

◆一般部１級・三段コース

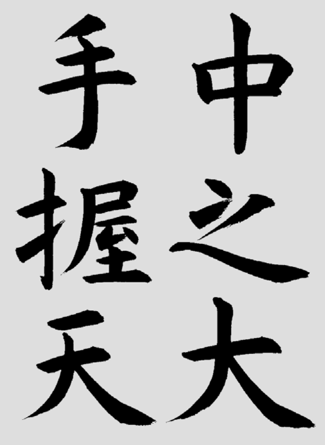
コース ＼ 課題		最高昇段級位	課　題	漢字 楷書	漢字 行書	かな	細字	計	受験料
一般部	１級コース	１級まで	漢字は下掲課題 かなは月例級位課題	1	1	1		3	1、500円
一般部	三段コース	三段まで	漢字は下掲、かな・ 細字は月例段位課題	1	1	1	1	4	2、000円

〔三段コース漢字課題〕

《集字聖教序》



《孔子廟堂碑》



神谷葵水先生臨

〔１級コース漢字課題〕

《行　書》

《楷　書》

澤　静雨書

◆一般部五段・書範・教範コース　◆教育部普通・会友コース

コース ＼ 課題		受験資格	最高昇級段位	課題	漢字 楷書	漢字 行書	漢字 草書	かな	細字	条幅	教育部手本	計	受験料
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2、500円
一般部	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3、000円
一般部	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4、000円
教育部	普通コース	—	12月しめきりの月例競書課題									1	400円
教育部	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題（行書）									2	700円

◎師範試験は、毎年２月に単独で実施しています。（Ｐ23参照）

■五段・書範・教範コース受験のきまり

一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおりの受験有資格者に限ります。

一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取得されても、**受験の際は改めて全科目を提出して下さい。**ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。

一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効になります。

五段・書範・教範コース課題

漢字　五段コース以上共通（半紙）

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑　符受命名居域

▼集字聖教序　在智猶迷況乎

▼書譜　革物理常然貴

かな　三段コース以上共通（かな用半紙）

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。

◎朝日（あさひ）いま上（のぼ）らむとしてくれなゐに
東（ひがし）なかばを染（そ）めぼかしたり
清水比庵　※Ｐ８参照

条幅　書範・教範コース共通（画仙紙半切）

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

晩径黄花開有色（ばんけいのこうかひらいていろあり）
暁程残月落無声（ぎょうていのざんげつおちてこえなし）

細字　五段コース以上共通（半紙）

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてください。

地区講習会のお誘いをありがとう
生来の怠け者でお恥ずかしい限り
ですがこの機会に本腰を入れて
勉強しようと固く決意しました
（ご自分の名前）

教育部手本課題　教範コースのみ（半紙）

小１　えだ

小６　師走の町

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。（小1年はひらがなで書くなど）

会友コース課題

▼十二月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじて出品のこと。

若者
（行　書）